

令和6年度 愛教研の表記について

愛教研「教育情報」編集委員会

- 編集委員会等でよく使われると予想される言葉（語句）について、下記のとおり表記を統一する。
- 確認事項
 - 1 原則として常用漢字を用いること。
 - 2 漢字や送り仮名の使用については、例解辞典を参照する。
 - 3 原則として縦書きの数字は漢数字を用いること。

| 見出し | 書き表し方 | すばらしい | すばらしい |
|-----------|-----------------|----------|------------------|
| あいさつ | 挨拶 | すべて | 全て |
| あきらめる | 諦める | せいとん | 整頓 |
| あたり | 開催に当たり、この辺り | ぜひ | 是非お越してください |
| ありかた | 在り方 | たいへん | 大変すばらしい |
| いただく | 協力していただく | たち（接尾語） | 私たち、友達（のみ漢字） |
| | 返事を頂く | たび | このたび、～するたびに |
| いちづける | 位置付ける | | 度々、度重なる |
| いっぱい | 精一杯、力一杯、水一杯 | たぶん | 多分 |
| いろいろな | いろいろな | だれ | 誰 |
| いわば | 言わば | ちかづく | 近づく |
| うえ | ～する上で（に）、～の上、 | つ（づ）かい | 気遣い、心遣い、言葉遣い |
| うけもち | 受持ち、受け持つ | つ（づ）くり ※ | 体力づくり、組織づくり |
| うちあわせ | 打合せ、打ち合わせる | つづる | 文をつづる、書類をつづる |
| うれしい | うれしい | つながる | 橋がつながる、成功につながる |
| おうせい | 好奇心旺盛 | できる | ～することができる（可能） |
| おそれ | ～のおそれがある（懸念） | | 作品が出来る（実現・成り立ち） |
| | ～を恐れる（恐怖） | ～をとおして | ～を通して |
| おもしろい | 面白い | とおり | 次のとおり、文字どおり |
| および | 及び | | 大街道通り、三通りの方法 |
| かかわる | 関わる | ともに | 提出するとともに（動詞に付く） |
| かかわらず | ～に（も）かかわらず実施する | | 友達と共に参加（名詞に付く） |
| がたい | 理解し難い | とりくみ | 取組、取り組み方、取り組む |
| きづく | 気付く | なか | ～する中で、～の中から |
| きわめて | 解決は極めて難しい | なかよく ※ | 仲良く |
| ください | ～してください、御理解ください | はいふ | 配付（特定の一人一人に配る） |
| | 時間を下さい | | 配布（不特定の大勢に配る） |
| くみあわせ | 組合せ、組み合わせる | はぐくむ | 育む |
| ご〇〇（〇は漢字） | 御指導、御支援、御覧ください | はなしあい | 話し合い、話し合い活動、話し合う |
| こころがける | 心掛ける | ひとりひとり | 一人一人（「ふたり」は二人） |
| こたえる | 要望に応える | ふだん | ふだんの様子で、不断の努力 |
| | 質問に答える | まじめ | 真面目 |
| こども ※ | 子ども、子供（文科省は漢字） | まわり | 身の回り、胴回り |
| さまざま | 様々な | | 周りの人、池の周り |
| さらに | 更に（副詞） | もつ | 持つ |
| | さらに、（接続詞） | もと | 指導の下、教育方針の下 |
| しかた | 仕方 | | 資料を基に説明、国の基を築く |
| しかる | 叱る | | 元に戻る、火の元 |
| しくみ | 仕組み（枠組み、取組） | | 本を正せば |
| じゅうぶん | 十分 | よい ※ | 良い方法、質が良い、仲が良い |
| ずいぶん | 随分 | | 善い行い |
| すでに | 既に | わかる | 分かる |

（注）※印 … 漢字の表記も可とする。執筆者の意向（考えがあってその表記とする場合）を重視する。

【縦書きにおける漢数字の表記】

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---------|-------------|------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|------|---------|-------|-----|-----|--------|-------|--------|------|------------|------------|----------|
| ※ 記号を使う場合は、一つの原稿内で統一しておく。 | 百二十五万km | 百二十五万キロメートル | 八十五% | 八十五パーセント | 単位の表記 | 二〇一七年 | 2017年 | 西暦の表記 | 百八十六名 | 一八六名 | 十二月二十一日 | 十二月二日 | 七十名 | 七〇名 | 平成二十九年 | 平成二九年 | 三百五十二個 | 三五二個 | 原則とする漢数字表記 | 推奨する漢数字の表記 | 望ましくない表記 |
| | 百二十五万km | 一二五万キロメートル | 八五% | 八五パーセント | | 二〇一七年 | 2017年 | | 百八十六名 | 一八六名 | 十二月二十一日 | 十二月二日 | 七十名 | 七〇名 | 平成二十九年 | 平成二九年 | 三百五十二個 | 三五二個 | 原則とする漢数字表記 | 推奨する漢数字の表記 | 望ましくない表記 |

- 固有名詞の表記については、執筆者の思いが強い場合や名詞に準ずる数字等、柔軟に考える。



【固有名詞表記例】

| | | | |
|------------|-------|--------|--------------|
| 愛媛の教育第二百十号 | 国道一―号 | 県道三〇二号 | 四二・一九五キロメートル |
|------------|-------|--------|--------------|

【アルファベット表記例】

解を助ける説明をしていただき、授業をスムーズに進行することができた。メインの活動では、「How many」を使ってペアでやり取りをし、プレゼントする相手を考えながらフルーツ盛り

【縦書きにおけるアルファベットの表記】

- ① 日常的に外来語として使用しているものは、原則として縦に並べる。

| | | | | | | | | |
|--------|-------------|-------------|------------------|-------------|-------------|------------------|-----------------------|------------------|
| C D | M V P | A L T | J I C A | I C T | N G O | 愛 媛 F C | J ・ P O P | G I G A |
|--------|-------------|-------------|------------------|-------------|-------------|------------------|-----------------------|------------------|

- ② 文や単語などは、横にする。



- ※ 本表記については、「あくまでも原則」という考えで対応する。一つの文章内において、前後の記述等により判断し、執筆者の意向（考えがあってその表記とする場合）を重視する。
- ※ 今年度も、その他、統一すればよい言葉については、愛教研「教育情報」編集委員会を中心にその都度検討を重ねていく。